

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院救急外来におけるクモ膜下出血の診断エラーの原因を解析

2. 研究の対象患者

旭中央病院にて救急外来を受診し、最終的にクモ膜下出血の診断となった患者さんで以下の選択基準を満たし、除外基準にいずれも該当しない患者さん

- ・ 選択基準
 - 1) 年齢を問わない
 - 2) 性別を問わない
- ・ 除外基準
 - 1) 病院に到着前にCPAとなった患者さん
 - 2) 紹介患者
 - 3) その他、試験参加医師が不適切と判断する患者さん

3. 研究の対象期間

2016年1月1日～2021年9月30日

4. 研究の概要

救急外来のcommonな主訴の1つに「頭痛」が挙げられる。頭痛の鑑別は多岐に渡り、致命的な疾患の1つにクモ膜下出血(SAH:subarachnoid hemorrhage)が含まれる。クモ膜下出血は致命的な疾患ではあるが臨床症状は様々で診断が困難な疾患の1つであり、初期診療における非専門医のSAH患者の誤診率は5～12%と言われている。

クモ膜下出血は致命的な疾患であるが一定数の診断エラーは生じ、その理由として、①疑うことができない、②頭部CTの読影エラー、③頭部CT陰性による除外の3つに大別される。今回我々は、救急外来を受診し最終的にクモ膜下出血の診断に至った症例を検討し、当院における診断エラーの理由を把握する。

5. 研究実施予定期間

2022年3月16日～2022年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

受診方法・年齢・性別・血管リスク・トリアージ・症状・バイタル

受付からトリアージ・診察開始・CT撮像・脳外科が診察するまでの時間

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者（又は代諾者）個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：診療局 久米 遼

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)